

佐賀県医療センター好生館 放射線科画像処理ユニット 調達業務仕様書

項目番号		要件
1		放射線科画像処理ユニットについて、以下の構成であること。
1	1	放射線科画像処理用ソフトウェアが含まれていること。
1	2	放射線科画像処理用ソフトウェアを搭載しているパソコンが含まれていること。
1	3	その他付属品が含まれていること。
2		項目1-1で示した、放射線科画像処理用ソフトウェアについて、以下の要件を満たすこと。
2	1	当館が使用する据付型X線撮影装置上のFPDシステムが読み取った画像データをモニタに表示して処理できる機能を有すること。
2	2	項目2-1で示したFPDシステムについて、富士フィルムメディカル社製「CALNEO C / CALNEO Smart」であることを明示する。
2	3	保存した画像データに対して、トリミング/アノテーション/マーカー入力等を行う編集機能を有すること。
2	4	画像処理として、マルチ周波数処理/ノイズ抑制処理/グリッド除去処理が行えること。
2	5	読み取りデータに対して、画像の順番を入れ替える機能を有すること。
2	6	画像の輝度およびコントラストの調整/拡大率変更/一部拡大/白黒の反転等が可能であること。
2	7	写損を含むすべての画像データを一定期間Law Dataで保存し、再正規化等の処理が行えること。
2	8	X線曝射後5秒以内に、ディスプレイ画像表示が可能であること。
2	9	日本語(ひらがな/カタカナ/漢字)に対応していること。
2	10	当館で運用している放射線情報管理システム(RIS)との連携によって、患者情報の取得が可能となっていること。
2	11	項目2-10で示した放射線情報管理システムについて、富士フィルムメディカル株式会社製「F-RIS」であることを明示する。
2	12	項目2-10で示した放射線情報管理システムから取得した患者情報(ID/氏名/生年月日または年齢)や撮影に関する情報(撮影日/撮影方向/撮影パラメータ(管電圧、mAs値など))が画像上に表示できるよう処理する機能を有していること。 また、撮影者の氏名が画像上に表示されること。
2	13	画像撮影にあたっての患者情報等の取得に関しては、DICOM MWM/MPPSIによる送受信形式に準拠していること。
2	14	システム等の不具合により患者情報等の取得が自動では困難である場合、手入力に対応できる機能を有していること。
2	15	諸々の処理が完了した画像については、当館が使用している医用放射線画像管理システム(PACS)と連携することで保存及び管理が可能となっていること。
2	16	項目2-15で示した医用放射線画像管理システムについて、富士フィルムメディカル株式会社製「Synapse」であることを明示する。
2	17	画像保存にあたっての画像情報等の送信形式については、DICOM Storageの規格・形式に準拠していること。
2	18	項目2-15で示した医用放射線画像管理システムへの画像出力が終了した検査であっても、リストから選択し追加撮影が可能であること。

3		項目1-2で示した、放射線科画像処理用ソフトウェアを搭載するパソコンについて、以下の要件を満たすこと。
3	1	デスクトップタイプPCであること。
3	2	OSはWindows 10 IoT Enterprise (64bit)相当のものであること。
3	3	プロセッサはIntel Core i5-9500(3.0GHz)相当のものであること。
3	4	メモリは4GB DDR4-SDRAM 2666MHz相当のものであること。
3	5	ディスプレイは解像度1920×1080以上の液晶カラーディスプレイでタッチパネル方式で操作できること。
3	6	項目2-10で示した放射線情報管理システムや、項目2-15で示した医用放射線画像管理システムとの接続し、LAN(100BASE-TX)を用いたソケット通信により情報を取得することを想定していることから、項目3-1で示したデスクトップタイプPCにおいても、これと同規格のインターフェイスを有していること。
3	7	上記の仕様を満たし、提案する機器についてはヒューレットパッカード社製「ProDesk 600G5 SFF」または、それと同等の機能を有するものとする。
3	8	館内ネットワーク上での対応も想定していることから、必要な場合は当館へ相談の上IPアドレスの払出しを受けること。
4		システム接続費等に関して、以下のとおりとする。
4	1	システムの接続費用、インストール対応費用に関して、調達の範囲内とすること。
4	2	当館で運用している電子カルテシステムとの連携作業について、調達の範囲内にて対応すること。
4	3	項目4-2で示した電子カルテシステムについて、NEC社製「MegaOakHR」の最新バージョンであることを明示する。
5		項目1-3で示した、その他付属品について
5	1	項目3で挙げたパソコンと接続できるモニタが、7台含まれていること。
5	2	項目5-1で示したモニタについて、提案する機器としてはEIZO社製「FDS1782T-T」または、それと同等の機能を持つものとする。
5	3	当館で発行されたバーコードから被験者情報を読み取るため、GS1 DataBar(RSS/RSS合成シンボル)等が読み取り可能なバーコード対応リーダ7台が付属していること。
6		その他
6	1	項目2で示したソフトウェアと項目3で示したパソコンを1組として、計7組を一式とする。

7		<b>納品等に関して</b>
7	1	令和3年3月31日までに、本仕様書に掲げる装置について、搬入・設置・据付・調整等を確実に完了し、安定した稼働ができるようにすること。
7	2	装置の設置調整費用は、今回の調達範囲に含むこと。(一次側設備[電気・空調・給排水等]の費用は含まない。)
7	3	上記の仕様を満たし提案するシステムに関しては、入札時点で『医薬品、医療システム等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律』(薬機法)に定められている製造・販売の承認を受けていること。
7	4	納入前に、納入先担当者と納入スケジュールを確認し、合意の得られた日程で作業を進めること。また、計画書類を提出する等をし、情報の齟齬が無いように努めること。
7	5	装置の設置調整にあたっては、当館スタッフとの協議の上、その指示によること。また、搬入の際には納入業者が立ち会うこととし、当館に損傷を与えないように注意を払うように努め、必要がある場合、搬入経路に養生等を施すこと。
7	6	当館の建物及び設備等に損傷を与えた場合、納入業者の責任において現状復旧すること。
7	7	システム設置にあたって、使用許可等関係行政機関への申請が必要な場合は、届出書類の作成のための資料等の提供を行うこと。
7	8	システムの設置にあたって使用環境整備のために必要な各種測定(遮蔽計算・漏洩線量測定など)がある場合は、落札業者が関係各所と日程等の調整を行い、確実に実施すること。
7	9	7-8について発生する費用は、今回の契約金額に含むこと。
7	10	搬入及び設置の際に、放射線管理区域内で作業をする場合は、当館のマニュアル等を遵守し、安全に十分配慮して行うこと。
7	11	本調達に関する契約の締結後、本仕様書に掲げる装置のバージョンアップ等があった場合は、契約額を変更することなく、最新のバージョンに修正し契約期間内に確実に納品すること。
7	12	装置やシステムの納入から起算して1年間は、それらの修理及び保守について無償で行うこと。
7	13	落札業者及びメーカーにおいて、各種障害が発生したときに早急な復旧を可能にするサービス体制を構築しており、当館に対してその証明が可能であること。
7	14	装置やシステムの故障、不具合に対して、夜間及び土日祝日、年末年始においても修理などの対応、連絡体制が整備されていること。
7	15	装置やシステムに関して当館からの依頼がある場合、30分～1時間以内に担当者が到着し、対応する体制が整備されていること。
7	16	操作マニュアルは、日本語版を当館が必要とする部数提供すること。
7	17	納入後1年間に行った調整及び修理等の全ての作業については、当館担当者に報告すること。
7	18	納入期限までに、当館の指示や指定する条件に基づき、当館職員の立会のもとで動作確認を行うこと。
7	19	取扱説明書に関する教育訓練は、当館の担当技士2名以上に対し当館が指定する日時・場所で行うこと。
7	20	納入後1年間は、必要に応じ、電話・現場立会いにより教育訓練を実施することとし、その経費については無償とすること。